

# 平成 27 年度 調査研究事業報告書



---

## 目次

---

第 1 章 調査の概要	1
第 2 章 調査結果	2
第 3 章 考察	5

---

平成 28 年 3 月  
北九州市保健福祉局健康推進課 口腔保健支援センター

# 第1章 調査の概要

## 1. 趣 旨

本市では、平成25年に作成した「北九州市健康づくり推進プラン」で1歳6か月児、3歳児歯科健康診査（以下、「歯科健診」という。）の受診率の向上を目標に掲げ、啓発等を行ってきたが、受診率は横ばい状態が続いている。

そこで、未受診者の動向を把握し、今後の施策に生かすために、本調査を実施した。

## 2. 調査方法

アンケート票郵送（往復はがき）による自記式調査とし、郵送による返信での回収。

## 3. 調査対象

1歳10か月になる月に1歳6か月児歯科健診の受診が確認できない子どもの保護者及び3歳10か月になる月に3歳児歯科健診の受診が確認できない子どもの保護者

## 4. 調査期日

平成27年8月1日～平成28年3月31日

アンケート票発送：平成27年8月11日～平成28年3月9日

アンケート票回収：～平成28年3月28日

## 5. 回収状況

	1歳6か月児歯科健診 未受診者	3歳児歯科健診 未受診者	計
対象数	3,071	2,874	5,945
回収数	552	425	977
回収率	18.0%	14.8%	16.4%

## 6. 調査機関

北九州市保健福祉局地域支援部健康推進課（口腔保健支援センター）

## 7. 集計分析上の注意事項

- ・ サンプル数は「N」で表記しています。
- ・ 集計値は原則として回答数の合計を100とした場合の構成比で、小数点第2位以下を四捨五入した値で示しています。このため、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答（2つ以上の選択肢を回答）は原則として100%を超えます。

## 8. 調査内容

歯科健診の受診状況、未受診の理由、他の歯科健診等の受診状況



表3 フッ化物塗布の受診状況

N	受診	未受診	未回答
412	348	61	3
	84.5%	14.8%	0.7%

※ 1歳6か月児歯科健診時に実施、自己負担600円（生活保護世帯無料）

表4 フッ化物塗布を受診していない理由（複数回答）

N	理由①	理由②	理由③	理由④	理由⑤
61	10	12	2	18	20
	16.4%	19.7%	3.3%	29.5%	32.8%

理由①知らなかった、②必要ない、③料金が安い、④子どもが泣いてできなかった、⑤その他

表5 親子歯科健診の受診状況

N	受診	未受診	未回答
412	131	278	3
	31.8%	67.5%	0.7%

※ 1歳6か月児歯科健診時に保護者を対象に実施、自己負担400円（生活保護世帯無料）

表6 親子歯科健診を受診していない理由（複数回答）

N	理由①	理由②	理由③	理由④	理由⑤	未回答
278	40	44	9	65	122	4
	14.4%	15.8%	3.2%	23.4%	43.9%	1.4%

理由①知らなかった、②必要ない、③料金が安い、④治療中、⑤その他

表7 妊産婦歯科検診の受診状況

N	受診	（再掲）受診者が受診した歯科医療機関			未受診	未回答
		市内	市外	不明・未回答		
552	239	202	17	20	302	11
	43.3%	84.5%	3.1%	3.6%	54.7%	2.0%

※ 妊娠中～産後1年未満までに1回、無料

表8 妊産婦歯科検診を受診しなかった理由（複数回答）

N	理由①	理由②	理由③	理由④	理由⑤	理由⑥	理由⑦	理由⑧	未記入
302	23	55	34	90	21	2	37	55	3
	7.6%	18.2%	11.3%	29.8%	7.0%	0.7%	12.3%	18.2%	1.0%

理由①知らなかった、②忘れていた、③面倒だった、④忙しい、⑤必要ない、⑥予約が取れなかった、⑦治療していた、⑧その他（体調不良、市外の歯科医院がかりつけ、仕事をしている等）

表9 妊産婦歯科検診の受診別にみた他の健診等の受診状況

	N	1歳6か月児歯科健診			親子歯科健診		
		受診	未受診	未回答	受診	未受診	未回答
受診	239	184	55	0	81	101	2
		77.0%	23.0%	0.0%			
未受診	302	223	79	0	49	173	1
		73.8%	26.2%	0.0%			

  

	N	フッ化物塗布			親子歯科健診		
		受診	未受診	未回答	受診	未受診	未回答
受診	184	154	29	2	81	101	2
		83.7%	15.8%	1.1%	44.0%	54.9%	1.1%
未受診	223	191	31	1	49	173	1
		85.7%	13.9%	0.4%	22.0%	77.6%	0.4%

## 2. 3歳児歯科健診受診勧奨者の状況について

表10 3歳児歯科健診の受診状況

N	受診	(再掲) 受診者が受診した歯科医療機関			未受診
		市内	市外	不明・未回答	
425	307	294	5	8	118
	72.2%	95.8%	1.6%	1.9%	27.8%

表11 3歳児歯科健診を受診していない理由 (複数回答)

N	理由①	理由②	理由③	理由④	理由⑤	理由⑥	理由⑦	理由⑧
118	7	26	2	11	3	2	54	33
	5.9%	22.0%	1.7%	9.3%	2.5%	1.7%	45.8%	28.0%

理由①知らなかった、②忘れていた、③面倒だった、④忙しい、⑤必要ない、⑥予約が取れなかった、⑦4歳までに受診する予定、⑧その他 (治療中、定期的に受診している等)

表12 妊産婦歯科検診の受診状況

N	受診	(再掲) 受診者が受診した歯科医療機関			未受診	未回答
		市内	市外	不明・未回答		
425	205	170	19	16	216	4
	48.2%	82.9%	9.3%	3.8%	50.8%	2.4%

表13 妊産婦歯科検診を受診しなかった理由 (複数回答)

N	理由①	理由②	理由③	理由④	理由⑤	理由⑥	理由⑦	理由⑧	未記入
214	24	36	32	44	5	1	43	41	1
	11.2%	16.8%	15.0%	20.6%	2.3%	0.5%	20.1%	19.2%	0.5%

理由①知らなかった、②忘れていた、③面倒だった、④忙しい、⑤必要ない、⑥予約が取れなかった、⑦治療していた、⑧その他 (体調不良、市外の歯科医院がかりつけ、仕事をしていた等)

表 14 1歳6か月児歯科健診の受診状況

N	受診	(再掲) 受診者が受診した歯科医療機関			未受診	未回答
		市内	市外	不明・未回答		
425	362	324	25	13	52	11
	85.2%	89.5%	6.9%	3.6%	12.2%	3.4%

表 15 1歳6か月児歯科健診を受診していない理由（複数回答）

N	理由①	理由②	理由③	理由④	理由⑤	理由⑥	理由⑦
52	6	17	2	7	0	0	23
	11.5%	32.7%	3.8%	13.5%	0.0%	0.0%	44.2%

理由①知らなかった、②忘れていた、③面倒だった、④忙しい、⑤必要ない、⑥予約が取れなかった、⑦その他（本人の体調不良、受けたつもりだった、登録外にかかっている等）

表 16 妊産婦歯科検診の受診別にみた他の健診等の受診状況

	N	1歳6か月児歯科健診			3歳児歯科健診		
		受診	未受診	未回答	受診	未受診	未回答
受診	205	189	8	8	164	41	0
		92.2%	3.9%	3.9%	80.0%	20.0%	0.0%
未受診	216	169	44	3	139	76	1
		78.2%	20.4%	1.4%	64.4%	35.2%	0.5%

表 17 1歳6か月児歯科健診の受診別にみた3歳児歯科健診の受診状況

	N	3歳児歯科健診			妊産婦歯科検診		
		受診	未受診	未回答	受診	未受診	未回答
受診	362	276	86	0	189	169	4
		76.2%	23.8%	0.0%	52.2%	46.7%	1.1%
未受診	52	23	29	1	8	44	0
		44.2%	55.8%	1.9%	15.4%	84.6%	0.0%

### 第3章 考察

本市では、1歳6か月児歯科健診は昭和55年、3歳児歯科健診は昭和45年から市内の登録歯科医療機関で受診する個別方式をとっている。

個別方式は、対象者が都合の良い時間帯に近隣の歯科医療機関で受診することができ、かかりつけ歯科医を持つきっかけにもなる、集団健診に比べて診察環境もよい、個人にあわせた指導ができるといった利点がある。一方、多くの自治体で実施されている集団方式と比較すると、医科の健診とは別に受診しなければならないといった一面もある。

本市の1歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診の受診率は、長年医科の健診受診率に比べて低く、30ポイント以上の差が生じている。また、同様に個別方式をとっている他自治体に比べても受診率が低く、早期発見・早期治療、むし歯を増やさないための多くの保護者へのはたらきかけができないことが、将来的な歯科疾患の増加、医療費・介護費の増大、健康寿命延伸に対する悪影響につながっていることが懸念されている。

そこで、平成 25 年に作成した「北九州市健康づくり推進プラン」で受診率の向上を目標に掲げ、啓発等を行ってきたが、受診率は横ばい状態が続いている。

このような状況の中、平成 26 年度の「口腔保健支援センター」の開設にあわせ、歯科関係者に加え様々な関係団体の構成員からなる「北九州市口腔保健推進会議」を設置した。その中で「未受診者の動向を把握する必要もある」との意見を受け、未受診者の動向を把握し、今後の施策に生かすために、本調査を実施した。

回収率は 1 歳 6 か月児、3 歳児の対象者とも 2 割未満であった。未受診者を対象としており、回収率が低くなったと思われる。

なお、今回の調査では、1 歳 10 か月、または 3 歳 10 か月までに受診が確認できない者を対象としたが、市が受診を確認するまで、1～2 ヶ月のタイムラグがあることから、行き違いを想定し、調査項目には受診済みの者も回答できる内容を盛り込んだ。

その結果、1 歳 6 か月児歯科健診、3 歳児歯科健診ともアンケート返信のあった 7 割以上がすでに「受診済み」と回答していた（表 1、10）。

また、今回の調査は、未受診者に対する受診勧奨を兼ねている。歯科健診を受診していない者の未受診の理由で最も多かったのは「2 歳（または）4 歳までに受診する予定」であった（表 2、11）。「忘れていた」とあわせると 1 歳 6 か月児歯科健診では 8 割以上、3 歳児歯科健診では 6 割以上となっており、受診勧奨の効果があると考えられる。

母子歯科保健の最初のきっかけとなる妊産婦歯科検診の受診状況と、他の歯科健診等の受診状況をみた。

1 歳 6 か月児歯科健診受診勧奨者では、1 歳 6 か月児歯科健診、親子歯科健診とも、妊産婦歯科検診受診者のほうが受診率は高く、特に親子歯科健診では 20 ポイント以上も高かった（表 9）。

3 歳児歯科健診受診勧奨者でも同様に 1 歳 6 か月児歯科健診、3 歳児歯科健診とも妊産婦歯科検診受診者のほうが受診率は高く、その差は 1 歳 6 か月児歯科健診受診勧奨者より大きかった（表 16）。

また、3 歳児歯科健診受診勧奨者では、1 歳 6 か月児歯科健診受診者より、妊産婦歯科検診受診者のほうが受診率は高い結果となった（表 16、17）。

以上のことから、1 歳 6 か月児、3 歳児歯科健診の受診率向上には、個別の受診勧奨が有効であり、加えてその後の 1 歳 6 か月児、3 歳児歯科健診の受診につながる妊産婦歯科検診の受診率向上や、それぞれの歯科健診受診時のはたらきかけが重要であることが示唆された。